

第6回**参加費無料****次世代の電磁界解析セミナー**

～モータの高精度損失解析の実務への展開 続報～

今日の電気機器の高効率化にシミュレーション技術は重要な役割を担っています。設計案が効率に与えるインパクトを予測することで、限られた時間の中で制約条件を満たす製品の開発を可能にしています。

一方で高効率化の要求は引き続き高く、さらなる最適化が求められています。

ここでシミュレーションに求められるのは、損失の予測精度を向上させるとともに、損失の発生メカニズムを捉え、根源的な対処を打つための情報を設計者に提供することです。この損失評価の高精度化のために、より原理的で精密なモデリング手法、測定手法の開発が進められており、それらによって応力依存やヒステリシスなどの複雑な現象を考慮したシミュレーションが可能になりつつあります。

そして今、これらのシミュレーション技術を利用し、より本質的な理解に基づいたさらなる低損失化と最適設計へのチャレンジが始まっています。

今回のセミナーでは新しい材料モデリング技術の理論、これからのモータ開発に求められるシミュレーション技術、先進的な適用事例、材料の利用および測定技術などについて、各分野でご活躍の研究者・技術者の方々に解説いただきます。モータの企画・設計開発に携わっている方々には是非ご参加いただき、新しいシミュレーション技術への理解を深めていただければと思います。同時に、参加者の方々とディスカッションを通して今後のあるべきシミュレーション技術の姿を見出していきたいと思ひます。

尚、本セミナーは、2013年に開催いたしました「第5回次世代の電磁界解析セミナー ～モータの高精度損失解析の実務への展開～」の続編として企画されています。前回参加された方には、そこで紹介された技術のその後の進展および実務への展開状況などをご確認いただけます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2015年 7月7日(火)

東京コンファレンスセンター品川

プログラム

- 12:30 - 13:00 受付
- 13:00 - 13:45 **高精度損失解析の実務展開における課題と今後の取り組み**
株式会社JSOL 山田 隆
- 13:45 - 14:30 **ヒステリシス磁界解析の基礎**
京都大学 工学研究科 電気工学専攻 教授 松尾 哲司氏
- 14:45 - 15:30 **無方向性電磁鋼板の開発動向と磁気特性に及ぼす加工の影響**
JFEスチール株式会社 スチール研究所 電磁鋼板研究部 主任研究員 戸田 広朗氏
- 16:00 - 16:40 **モータ設計、制御におけるモデリングの課題と今後の展望**
芝浦工業大学 工学部電気工学科 教授 赤津 観氏
- 16:30 - 17:15 **磁場解析による鉄損計算における加工歪みの影響**
株式会社デンソー 材料技術部 担当次長 岡崎 恵一氏
- 17:15 - 18:00 **鉄心の詳細な磁気特性を考慮したモータ設計についての検討**
三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 電機システム技術部 部長 大穀 晃裕氏
- 18:10 - 19:30 シンポジウム(懇親会)

お申込みはこちら：

http://www.jmag-international.com/jp/seminar/op/new_mag_6th/